

ごみ減量推進員の活動事例

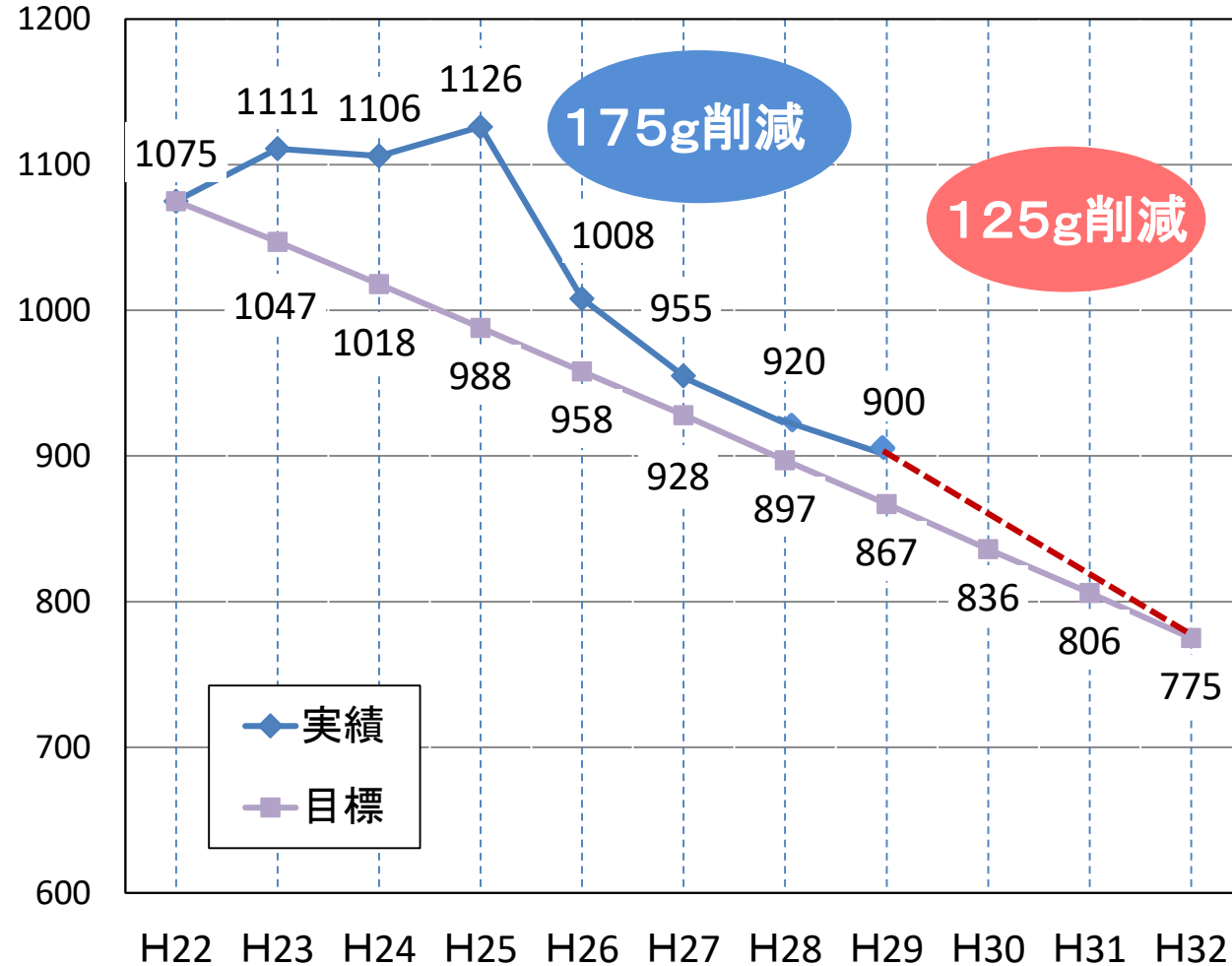
～各地区での活動状況～



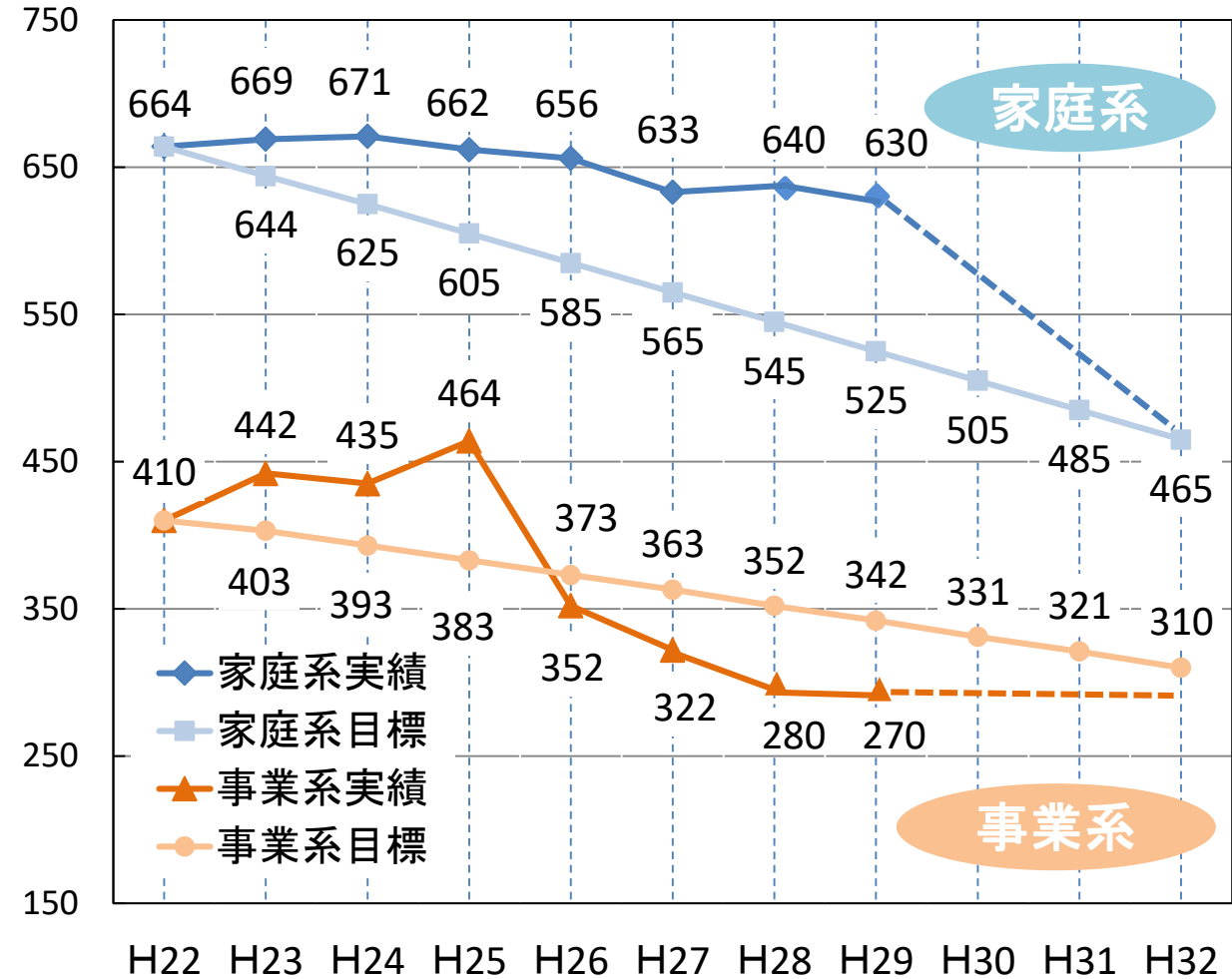
平成30年8月22日
第11回ごみ減量推進員研修会

数値目標の進捗状況

1人1日あたりのごみ排出量(資源を除く) (単位:g)



家庭系・事業系別推移 (単位:g)



木本地区

ごみ減量に対する取り組み
~リリクルメントとともに~

木本地区

…和歌山市の西部、
紀の川の北側

人口

… 17,625人

世帯数

… 7,922世帯

※平成30年7月1日現在



安全・安心

花いっぱい・楽しく過ごさせてます・キレイな町やで・夏祭りのやなあ・・・声飛び交う町づくり



夢をあきらめない

木本地区から冬季オリンピック選手ができました

戦いを終えて
長年追いつけてきたオリンピックの舞台、メダルはおろか決勝にも進めなかった。決勝で戦えなかったことも悔しいが、いい感触で飛べた1本目のジャンプが評価されなかった。2本目は予選通過に向けて気持ちを切り替えてワールドカップでも殆ど失敗をしていない技で挑戦し、平常心で挑んだつもりだったが結果を出すことが出来なかった。これがオリンピックと言う特別な舞台なのかもしれません。しかし、やってきたことに悔いはいし後悔もない、メダリストには成れませんが、この貴重な経験がこれからの人生の中で大きな財産となったことは言うまでもありません。ここに来るまで多くの方々にお世話になり、追いつけてきたオリンピック出場と言う目標を実現する事ができました。僕をこの舞台に立たせて頂きました全ての皆さんに言い尽くせない感謝でいっぱいです。そして出場直前に盛大な壮行会を開催していただきました出身地の木本連合自治会の皆さん本当に有難うございました。



一般社団法人
木本地区連合自治会
組織・情宣運委発行

発行責任者
野畑久則
木本連絡所
TEL: 455-0035

印刷
(株)和歌山印刷所



木ノ本中自治会

フリースタイルスキー

男子エアリアル代表 田原直哉

木本地区の活動内容

平成25年 ごみ減量推進員4名選出

- ・ ごみ集積場所に立ち状況確認や指導
- ・ 小型家電の収集日に地区内を巡回し状況確認
- ・ 小学校におけるごみの出前講座に参加
- ・ 不法投棄されていないかパトロール実施



平成二十一年度で中核市の中で和歌山市はゴミ排出量でワースト三位という現状です。この汚名を少しでも改善して行こうという事で、一般ごみ減量の取り組みで和歌山市よりゴミ減量推進員を地域から選び研修会を行ったり各地域の取り組みを話し合ったりしています。ゴミの排出量は徐々に減ってきてはいますが、現在は横ばいの状態が続いているようです。

我が自治会においては、昨年から小型家電の収集がはじまり初回でかなりの物が集まりました。そのとき、収集の状況を自治会の役員で立会いしましたがほとんど問題なく終わりました。私の自治会では、一般ゴミの時クラスが収集物を荒らす事がありますが、対策にネットや、ブルーシートをかけています。特に収集日以前に出す方も少しはありますが概ね問題なさそうです。

今後ごみ減量の為に各家庭で分別やゴミになるようなものを買わない様にしてみよう。最も多い生ゴミ、食べ残しをなくす、心がけ、減量に協力してほしいと思います。

「ゴミ減量の取り組み紹介」
推進員 植野 雅之



ごみ減量大作戦 展開中!

和歌山市は42中核市の中で常にワースト5!

年間 一人当たり平均422kg排出、処理費用11,600円。

10年間（平成32年まで）で30%の削減目標

文化的生活を営む以上 ごみは必ず発生します。でも一人ひとりの知恵と工夫で、また人々が協力することによってごみの量を減らすことは可能です。ごみは人間が勝手に作り出した厄介者ですが扱いによっては資源として再利用することが出来ます。

日本の国が環境保全や莫大な負債の返済など「負の遺産」解消に向けて、国民が本格的負担増時代を迎える中、限られた資源を大切に賢く利用することとコストの削減は、現代に生きる私達の責務と言えるでしょう。

今回は、和歌山市が進めている「ごみ減量大作戦」の一環として、木本地区でも分別収集の徹底、資源集団回収、小型家電回収などの活動状況を紹介しながら、ごみ問題に対する意識の高揚が図れば幸いです。

【和歌山市ごみ減量推進員制度】

ごみの減量や資源分別の促進、生活環境の向上の為に、各家庭や地域での取り組みなしには実現できません。市民の方に「和歌山市ごみ減量推進員」になっていただき、ごみ出しの状況確認や指導、啓発など市民と行政とのパイプ役としてお手伝いする制度です。市内全域42地区、リーダー・サブリーダー合わせて130名が市長より委嘱。

<木本地区ごみ減量推進リーダー：通称リクルリーダー>

豊 浦 幸 三 （連合自治会書記、榎原団地自治会会長）

<木本地区ごみ減量推進サブリーダー：通称リクルサブリーダー>

野 畑 久 則 （連合自治会副会長、新榎原自治会会長）

中 谷 寿 昭 （連合自治会幹事、古屋自治会会長）

植 野 雅 之 （連合自治会監事、木ノ本北自治会会長）



【リクルリーダーの日常的活動】

主に、地区内のごみ出し状況の確認並びに回収作業の立合い、一般者との情報交換。

(1) ごみの分別は年々改善されつつあるが、一部不徹底があり未回収のごみに苦慮。

(2) 生ごみ対策

①分量（重量）が最も多い……水切りを徹底し減量を。

②残飯などは当日の朝に……カラスや猫が漁り放題に。

(3) ペットボトル・プラスチックなど軽量物は風に飛ばされない対策を。

上記(1)は、車で通りがかりの人がボイと捨てて行くのが原因のようです。対策に何か良い知恵があればお寄せ下さい。

(2) 生ごみ対策は水切りの徹底と、残飯漁り対策として防鳥ネット又は専用ボックスの設置などが考えられますが、スペースや費用の関係もあり現状の中で創意工夫するしかないのかな。

(3) は、飛散防止ネットが有効な手立てと思われるが費用の面でどうか。

いずれにしても、ごみ減量推進員としてこれらの現状に立合い、問題・課題に触れたことで認識を新たにしているところです。特に、ごみ出し場（集積場所）近くの方が収集車が去ったあと、散乱したごみやネコなどが喰い散らかした残飯の後始末を水で綺麗に流し掃除している姿を見ると、ゴミ問題は理屈ではなく皆で行動しなければ、と痛感したところです。（この項、豊浦）

地域情報機関誌「みらい」の活用②（H30年1月）

第7号

一般社団法人 木本地区連合自治会

2018年（平成30年）1月



「備えよ常に」

昨年の6月に木本地区総合防災避難訓練に参加させて頂きました。今年は、7月に私達 中自治会でも、子ども達を集めてのテント張り体験学習を実施し、防災に必要な知識・技術をボイスカウトさんから教えて貰うことが出来ました。「自分たちの地域は、自分達で守る」という自覚と連帯感を持ち、より良い自治会に行きたいと願っています。

（木ノ本中自治会 大久保記）

ごみ減量計画への取組
和歌山市では10年間で一人当たり300gの減量が目標です。H22年から始め、5年で110g削減できました。
目標達成には後5年間、H32年迄にあと180gの削減が必要とされています。
木ノ本中自治会では趣旨に沿い老人会が既に活発に資源回収に取り組んでいます。他にも身近に多々あると思います。私はごみ集積場所の美化運動も効果があるのではと考えています。
最近の出来事です。道路沿いの集積場にポイ捨てが起っています。マナーの悪さもさることながら、

- ① 生ごみの水切りを徹底してください。
- ② 資源ごみの分別をお願いします。
- ③ 収集日を守ってください。

ごみの減量にご協力ください
木本地区連合自治会 中谷 寿昭

ごみの減量にご協力ください

木本地区連合自治会 中谷 寿昭

ごみ減量計画への取組

- ① 生ごみの水切りを徹底してください。
- ② 資源ごみの分別をお願いします。
- ③ 収集日を守ってください。



和歌山市は家庭ごみの一人当たりの排出量は中核市ワースト3です（平成27年度実績）改善が急務です。
目標達成には後5年間、H32年迄にあと180gの削減が必要とされています。
木ノ本中自治会では趣旨に沿い老人会が既に活発に資源回収に取り組んでいます。他にも身近に多々あると思います。私はごみ集積場所の美化運動も効果があるのではと考えています。
最近の出来事です。道路沿いの集積場にポイ捨てが起っています。マナーの悪さもさることながら、

現在の集積場が周囲の環境の変化で意に沿っていないのかも知れません。現在の集積場が適切であるのか？会員の皆様方のご意見を聞きながら併せて美化運動に取り組んでいきたいと思っています。
（木ノ本中高岸記）

現在の集積場が周囲の環境の変化で意に沿っていないのかも知れません。現在の集積場が適切であるのか？会員の皆様方のご意見を聞きながら併せて美化運動に取り組んでいきたいと思っています。
（木ノ本中高岸記）



現在の集積場が周囲の環境の変化で意に沿っていないのかも知れません。現在の集積場が適切であるのか？会員の皆様方のご意見を聞きながら併せて美化運動に取り組んでいきたいと思っています。
（木ノ本中高岸記）



★『リリクルメイト』・・・ごみ減量推進員の補佐役
広い地域で活動するためにはリリクルメイトの力が必要！

しかし！

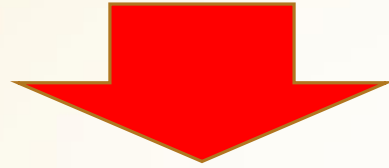
木本地区（平成29年度）
リリクルメイト登録者数 0名

このままでは、いけない。
単位自治会で最低1名リリクル
メイトを！



平成30年3月 現状分析、問題提起

単位自治会で最低1名を募集



リリクルメイト17名が決定!!

平成30年6月 リリクル委員会設立



6月14日にはリリクル委員会として「出前講座」を実施

今後の活動予定

- ・ 単位自治会個別の問題対応

ごみ置き場が適正な
場所にあるかなど



- ・ 各地域のパトロール
- ・ ごみ置き場の管理調査、改善案作成
- ・ 森林河川への不法投棄調査
結果、対策案のまとめ

新南地区

不法投棄への取り組み
~まちがきれいになるまで~

新南地区

・・・和歌山市の中心部
人口

・・・ 4, 0 3 2人

世帯数

・・・ 2, 1 5 7世帯

※平成30年7月1日現在



美園町 4 丁目道路のごみ排出場所への対応



- ごみ収集日以外に排出されている
- 美観を損ねており付近に異臭
- 商売上多大な影響⇒付近の飲食店主から 3 回の申し入れ

1. ごみ排出場所の撤去
2. 看板の設置

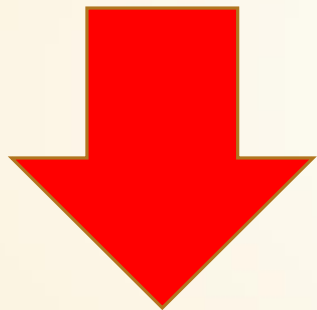
★ごみ排出場所撤去の看板 ★不法投棄禁止の看板



3. 設置されている網等の撤去
4. 業務用ごみに関する啓発チラシの配布

結果

平成28年10月1日ごみ排出場所を廃止



不法投棄が無くなった!!



【写真】近隣住民の協力に対し感謝の意を表すため看板を設置

当時のけやき大通り市営駐車場出口付近の状況



- 周辺に和歌山駅、百貨店、銀行など
- 人や車の往来が多く、特定美観地域にも指定

各々の役割分担

○自治会長

- ・「ごみ不法投棄禁止看板」の製作・設置
- ・周辺事業所への聴き取り

○ごみ減量推進員

連絡調整・助言

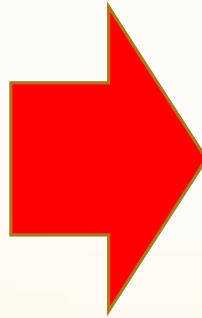
○新南連絡所長

連絡調整・助言

○北事務所職員

- ・事業系ごみの収集業務委託状況のチェック
- ・収集業務委託をしていない事業所への指導

看板の設置



- 「不法投棄禁止」看板設置だけでは効果なし
- さらに看板を追加

現在の状況



【平成29年4月5日現在】



【平成30年2月9日現在】

望ましい形で解決⇒きれいな景観に!!

付近の方々の協力や立会いメンバーの速やかな
役割実行のおかげである

その他の活動 資源集団回収

新たな取組として

○平成30年5月、市の集団回収団体に登録

○実施日時：原則毎月10日
午前8時30分～午前11時

○集積場所：新南公園

○回収品目：紙類、布類



地区内への周知

地区内への回覧

新南地区の皆さまへ

平成30年 6月
新南地区連合自治会

★古紙・廃油の回収について★

桐の花咲くころ、皆様いかがお過ごしですか。
平素より、自治会へのご協力ありがとうございます。
この度、古紙・廃油の回収をつぎのとおり連合自治会が行いますので、皆さまのご協力を今後も一層よろしくお願いいたします

回収するもの
新聞紙・雑誌・段ボール・布類・雑紙等
廃油とは、使用済み食用油です



実施日

6月11日	7月10日	8月10日	9月10日	10月10日
11月12日	12月10日	1月10日	2月12日	3月11日

場所： 新南公園（南東側）

時間： 午前8：30～11：00まで。（雨天順延）

*お問い合わせは、新南連絡所 TEL (073) 422-1621 へ

回									
覧									

当日の様子



四箇郷地区

みんなで行く ゴミ減量
～地区人口が増加する中で～

四箇郷地区

…和歌山市の東部、
紀の川の南側

人口

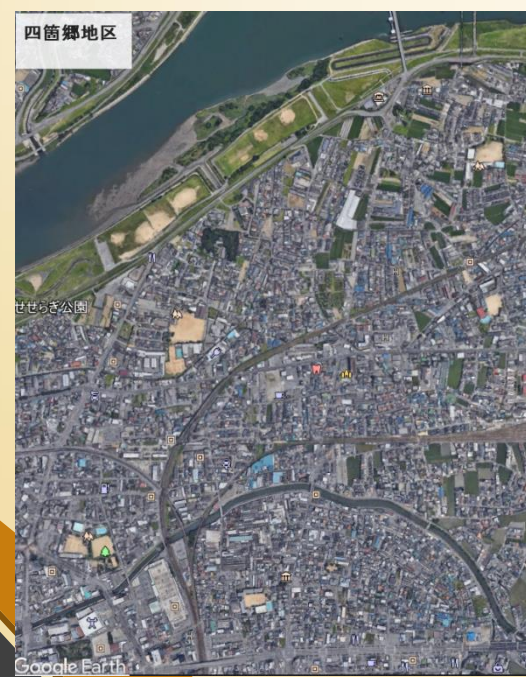
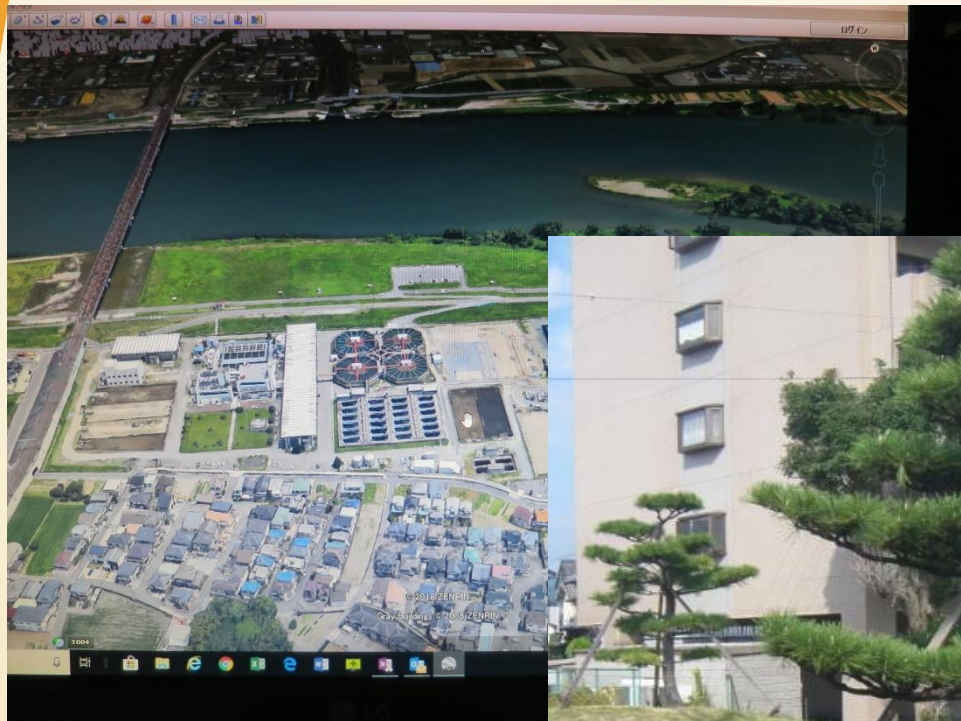
… 17, 144人

世帯数

… 7, 955世帯

※平成30年7月1日現在

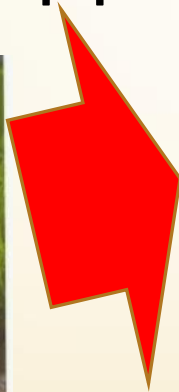




ごみ排出場所におけるマナー違反ごみ

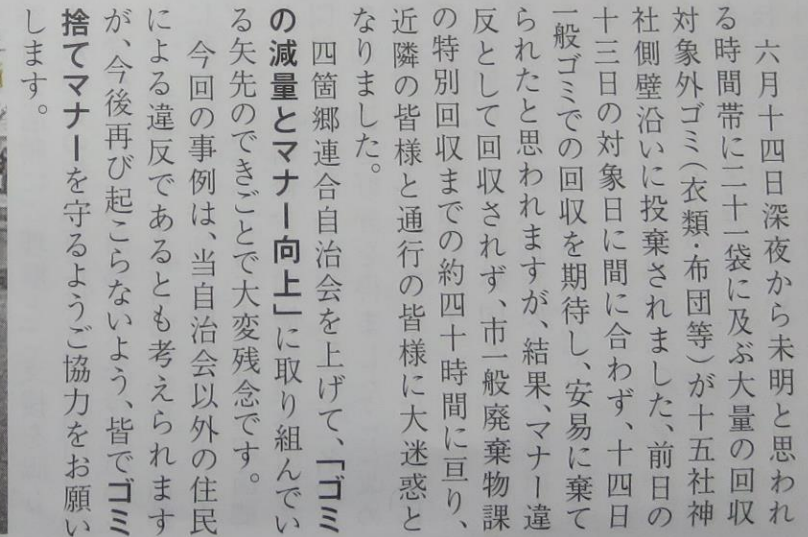


啓発シートを掲示しているのに・・・



※残されてしまっているマナー違反ごみ

「ごみの減量とマ
ナー向上」に取組
みましょう!!



ふれあい食事会においてごみ減量を啓発

四箇郷地区社会福祉協議会

男性の調理ボランティア募集

四箇郷地区社会福祉協議会では、平成三年十一月より毎月一回（八月を除く）地区内の六十五歳以上の一人暮らしの方々を対象に「ふれあい食事会」を開催しています。この度、この事業に参加し、食事作りに協力頂ける男性の方を募集しております。

巷で行われている、『男の料理教室』に参加したつもりで、年に一度、男だけの食事作りをやってみませんか、申し込みお待ちしております。

イラスト：男の料理教室の参加者

ボランティア募集についてのお問い合わせ・お申し込みは
四箇郷連絡所
☎471-2210まで



男料理の出来上がり!!



紀の川河川敷の清掃

平成 30 年 7 月 10 日
NPO 法人 きらめき紀の川
理事長 藤 上 和 男

紀の川河川敷・大清掃のお願い

暑中お見舞い申し上げます

平素は「NPO きらめき紀の川」の運営にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます

さて、7 月は【全国河川愛護月間】であります。

NPO きらめき紀の川も参加します。3 回目ですが、今年も紀の川環境保全協議会様（会長 石川弘理事）と共に紀の川河川敷清掃を次の通り実施いたします。

ご存じと思いますが「紀の川河川敷」の清掃範囲が広いので、一人でも多くの参加者を募集しております。

あなた様と一緒に清掃参加出来る方を是非お誘いあわせ、河川敷清掃のご協力とご参加をお願い申し上げます。

紀の川の水は私達の命の一滴です。

わたしたちの紀の川 いつまでも 美しく 大切に
記

1. 日 時 平成 30 年 7 月 22 日（日） 午前 7 時 45 分集合
作業開始 8 時～9 時頃まで
2. 集合場所 水ときらめき紀の川館前 集合午前 7:45 駐車車場あり
住所 和歌山市有本 462 （紀の川大堰南詰め）
3. 清掃範囲 せせらぎ公園から上流へ松島地区付近の河川敷一帯。
4. 天 候 雨天中止。 服装スタイル＝清掃作業服 帽子 靴
5. 持 ち 物 ごみを拾う為の火箸はご持参ください。
お茶・軍手・ごみ袋は準備しています。

当日緊急時連絡先 090-3281-6770 藤上和男

・ 紀の川河川敷の不法
投棄撲滅

・ お願いの文書を配布
し協力を依頼

・ 11 月には一万人大
清掃



多くの方が参加
してくれまし
た。



集められたごみ



捨てられていたごみを収集し分別



一時避難場所にて分別

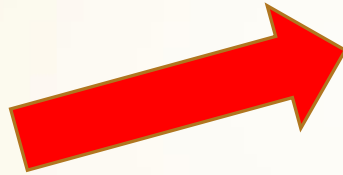
- ・ 災害時での避難場所の再認識
- ・ 住民相互のコミュニケーション力向上などの効果



最後に . . .



四箇郷まつりの様子



次の日の会場



分別してまとめられたごみ

つれもて**分****別**ごみ**減**量

美しい海・山・川の城下町わかやま